

平成28年度 教育プログラム 講座概要

Ver 3.5: 2016/ 4/ 05
日程や講義概要について、都合により変更する場合があります。

No	講座No	座学実習	講座カテゴリー	講師	職位	講師の所属機関	講座日付	講座時間	講義題名	講義の概要	成績証明	受講証明
1	-	座学	-	伊藤 正実	教授	群馬大学	4月12日	9:30-10:30 1h	ガイダンス	地域特性を活用した「多能工型」研究支援人材養成拠点の本コンソーシアム事業の構想、目的、組織体制、教育プログラムの概要について説明する。また、外部参加の受講者のため、簡単な自己紹介も実施する。	-	-
2	R01	座学	コンプライアンス リスクマネジメント	伊藤 正実	教授	群馬大学	4月12日	10:40-12:10 1.5h	安全保障貿易管理の仕組みと大学における体制構築	海外との研究交流においては安全保障貿易管理について理解し、法令に遵守した手続きに従って適切な輸出管理を実施しなければならない。 講義は、基礎的な輸出管理に関する法律の枠組み、大学における安全保障貿易管理の関わりについて理解する。またリスト規制やキャッチオール規制、規制対象に該当した場合の対応方法について説明する。さらに大学の組織として十分機能する輸出管理体制をどのように構築すべきかを学ぶ。 この講義は4/14 に輸出管理のテストを実施する。	講座を受講し テストで80点 以上で発行	成績に関係なく、 コンプライアンス・ リスクマネジメントの 座学講座(R01,R02,R03,R04, R05,R06,R07) 全ての 受講で発行
3	R02	座学	コンプライアンス リスクマネジメント	角田 重雄	国際連携プランナー	東京工業大学	4月12日	13:10-14:40 1.5h	大学における輸出管理実務について	本講義では、東京工業大学での留学生を中心とした輸出管理業務を参考にしつつ、大学の輸出管理の実務について説明する。また大学で頻繁に起こりえる事例として、留学生・研究員等の受入の際の審査について、実務的な観点から留学生受け入れのチェックポイントを学ぶ。	-	
4	R03	座学	コンプライアンス リスクマネジメント	井上 歩	所長	一般財団法人バイオインダストリー協会	4月12日	15:00-16:30 1.5h	生物多様性条約及び名古屋議定書について	海外の遺伝資源にアクセスする場合、生物多様性条約について理解し、契約交渉の際に、提供国の法令を遵守し生物多様性条約やボンガイドラインに従わなければならない。 講義では、基礎編として、生物多様性条約と遺伝資源の利益配分(ABS)の基本知識、名古屋議定書の概要について学ぶ。実務編では、用語の説明やABS関連法令等の調べ方など実践的な内容を習得する。 この講義は4/14 に生物多様性のテストを実施する。	講座を受講し テストで80点 以上で発行	
5	R05	座学	コンプライアンス リスクマネジメント	野内 玲	助教	信州大学	4月12日	16:40-18:10 1.5h	研究者倫理の考え方(全ての研究者にグローバル・スタンダードを)	研究者支援者も研究者倫理の意義を理解して研究者への対応をおこなう必要がある。 講義では、研究者育成の為の行動規範教育の標準化と教育システムを展開している CITI Japanプロジェクトの紹介を中心に研究者倫理の重要性について理解する。	-	
6	R06	座学	コンプライアンス リスクマネジメント	新谷 由紀子	准教授	筑波大学	4月13日	10:00-14:00 4h	大学における利益相反	大学における利益相反の概念は、研究者支援者も十分に理解し、共同研究を支援する立場から常に利益相反を意識すると共に研究者に対して必要に応じて助言が出来る事が必要である。 講義では、利益相反の基礎知識、米国の利益相反と日本の利益相反の現状、大学における利益相反の考え方や対処方法を学ぶ。 グループ討議ではケーススタディについて具体的な対応方法について議論し理解を深める。 また最後に、理解度を把握するためテストを実施する。	講座を受講し テストで80点 以上で発行	
7	R07	座学	コンプライアンス リスクマネジメント	飯田 香緒里	教授	東京医科歯科大学	4月13日	14:10-18:10 4h	臨床研究における利益相反	臨床研究における利益相反はヒトを対象とする研究ということもあり、問題が発生した際の深刻さのレベルは一般的な利益相反より高いと考えるべきものであり、より厳しく個々の事象を取り扱う必要がある。 講義では、臨床研究の特殊性を理解しこの利益相反マネジメントの重要性とマネジメント体制について学ぶ。 グループ討議ではケーススタディについて具体的な対応方法について議論し理解を深める。 また最後に、理解度を把握するためテストを実施する。	講座を受講し テストで80点 以上で発行	
8	R04	座学	コンプライアンス リスクマネジメント	伊藤 隆	専門官	文部科学省	4月14日	10:00-11:00 1h	カルタヘナ法について	遺伝子組換え生物資源の使用等の規制について理解はこの分野の研究活動において必須のリテラシーである。研究支援者もある一定レベルの理解を有することが必要であろう。 講義では、カルタヘナ議定書、研究開発段階の第一種、第二種使用等、拡散防止措置や申請方法について学ぶ。 また理解度の把握のため、簡単なテストを実施する。	講座を受講し テストで80点 以上で発行	

平成28年度 教育プログラム 講座概要

Ver 3.5: 2016/4/05
日程や講義概要について、都合により変更する場合があります。

No	講座No	座学実習	講座カテゴリー	講師	職位	講師の所属機関	講座日付	講座時間	講義題名	講義の概要	成績証明	受講証明
9	-	座学	-	参加URA	-	-	4月14日	15:30-17:30 2h	各URAより、ミッションと現在の取り組みについてのプレゼンテーション	教育プログラムの集中講座に参加している研究支援者(URA)から、所属機関の研究支援活動についてプレゼンテーションを行い、大学間の情報交流を行う。	-	-
10	I02	座学	知財管理・契約	川瀬 真	教授	横浜国立大学	4月15日	10:00-11:30 1.5h	著作権	著作権の基本的概念及び、大学の研究・教育活動における著作物の取り扱いに関連したテーマを中心に扱う。特に、著作権特有の概念である著作者人格権や論文等引用の取扱いや教育現場で用いる教材の著作権上の取扱いの問題等は重要なテーマと認識される。 この講義は 4/18 に著作権のテストを実施する。	講座を受講しテストで80点以上で発行	成績に関係なく、知財管理・契約の座学講座(I01,I02,I03,I05),全ての受講で発行
11	I05	座学	知財管理・契約	佐田 洋一郎	知的財産センター長	山口大学	4月15日	13:00-17:30 4.5h	特許法と大学知財のかかわりについて	特許法の基本的な構成や概念だけでなく、大学の研究活動における成果の取り扱いに関連した項目について理解を深める。 また、共同研究や受託研究における出願発明を取り扱う上の注意点や発明者認定の問題、共同出願者の取扱いの考え方等を詳説する。 この講義は 4/18 に特許法のテストを実施する。	講座を受講しテストで80点以上で発行	
12	I01	座学	知財管理・契約	小板橋 浩之	弁理士	アクシス国際特許業務法人	4月18日	13:00-14:30 1.5h	大学におけるノウハウ管理	大学で扱う知的財産は、特許にしていけないノウハウの情報も含まれる。特に産学連携に携わる研究支援者はノウハウ情報の管理が重要である。 講義では、背景にある不正競争防止法に基づいてノウハウとは何か？から始まり大学におけるノウハウ管理の在り方について解説する。	-	
13	I03	座学	知財管理・契約	安田 耕平	代表取締役社長	株式会社キャンパスクリエイト(電通大TLO)	4月18日	14:40-17:40 3h	技術移転と契約	産学官連携活動において、技術移転に関する知的財産の扱いや契約が重要である。 講義では、共同研究、受託研究の実態調査と現状の把握、また技術移転を進める上で効率の良い技術移転の進め方を学ぶ。 またグループ討議も実施し、大学技術移転に関する取り組みについて理解する。	-	
14	F01	座学	ファンド申請	山口 佳和	教授	千葉工業大学	4月19日	10:00-11:30 1.5h	科学技術基本法から始まる科学技術政策の流れについて	JSTやNEDOといったファンディングエージェンシーの活動は、日本における科学技術政策に基づいている。その科学技術政策の流れを理解することはファンド申請を行う際に重要である。 講義では、科学技術政策とは何か、科学技術政策の歴史、科学技術基本法、科学技術基本計画、科学技術政策の現状について科学技術に関する基本的な知識を学ぶ。	-	
15	F02	座学	ファンド申請	福田佳也乃	課長代理	科学技術振興機構(JST)	4月19日	13:00-14:30 1.5h	JSTの事業概要について	JST(科学技術振興機構)では大学での基礎研究を対象とするものだけではなく社会課題解決型の研究プロジェクトを対象とするファンドメニューも多数存在する。特に最近の傾向としては企業との連携がこうした研究補助金申請において必須の傾向がある 講義ではJST事業の概要やイノベーションを創出した事例、JSTが扱う最新のファンドメニューについて学ぶ。	-	ファンド申請の座学講座(F01,F02,F03,F04)の受講かつ実習講座(F05,F06)の受講で発行
16	F03	座学	ファンド申請	諸橋 淳二	主査	新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)	4月19日	14:40-16:10 1.5h	NEDOの事業概要について	NEDOは経済産業省の外郭のファンディングエージェンシーであり、環境・エネルギーの分野を中心として非常に幅広い分野に対して研究開発に対する補助金事業をおこなっている。 本講義ではNEDO事業の概要及び、NEDOが取り扱う最新のファンドメニューについて学ぶ。	-	
17	F04	座学	ファンド申請	田内 広	教授	茨城大学	4月19日	16:20-17:50 1.5h	日本学術振興会科学研究費助成事業における申請書作成の要領について	日本学術振興会の科学研究費の助成事業について、採択率を上げるための申請書作成のテクニックとして、作成のポイント、注意点、記述方法について学ぶ。	-	

平成28年度 教育プログラム 講座概要

Ver 3.5: 2016/ 4/ 05
日程や講義概要について、都合により変更する場合があります。

No	講座No	座学実習	講座カテゴリー	講師	職位	講師の所属機関	講座日付	講座時間	講義題名	講義の概要	成績証明	受講証明
18	C01	座学	企業活動	出川 通	代表取締役	(株)テクノ・インテグレーション (略称:TIG)	4月20日	9:30-15:00 4.5h	技術経営の基本とテクノロジーマーケティング	研究支援者が産学官連携に関わる場合、技術経営に関する知識や企業の研究開発の考え方について理解する必要がある。 講義では、経営理論とMOTの基礎知識、MOTマーケティング、事業ライフサイクル、研究開発から事業化における戦略プロセスを学ぶ。	-	
19	C02	実習	企業活動	調整中	調整中	NTTデータ	4月20日	15:10-18:10 3h	第1回 企業活動理解能力向上	この講座は、企業の経営者や幹部技術者を招き、研究開発体制や事業化する戦略について講義し、顕在的に発生している企業課題の解決方法についてグループ討議を実施する。	原則、年2回のレポート提出で発行	企業活動の座学(C01)の受講かつ実習講座(C02,C03)の受講で発行
20	C03	実習	企業活動	未定	未定	未定	10月予定	未定	第2回 企業活動理解能力向上	講義後、課題について考察しレポートを提出する。	レポートに問題がある場合、評価者が不合格とする場合がある。	
21	F05	実習	ファンド申請	伊藤 正実	教授	群馬大学	課題:5月提出:7月評価:9月	未定	第1回 ファンド申請リライト作業	研究支援者は、科学技術基本計画から日本の科学技術政策の流れを理解し、個々のファンディングのメニューに合った申請書にする必要がある。 この実習講座は、JSPSの申請書からJST, NEDOのファンディングメニューの申請書に書き換え作業を実施する。	原則、年2回のリライト作業で発行	ファンド申請の座学講座(F01,F02,F03,F04)の受講かつ実習講座(F05,F06)の受講で発行
22	F06	実習	ファンド申請	伊藤 正実	教授	群馬大学	課題:11月提出:1月評価:3月	未定	第2回 ファンド申請リライト作業	リライト作業された申請書は当該事業趣旨に合致したものになっているか、十分に訴求する内容になっているかなどの観点から、評価委員と申請書を提供した研究者が評価する。	リライト作業で趣旨の異なる申請書の場合は不合格とする場合がある。	
23	S01	実習	研究活動	伊藤 正実	教授	群馬大学	6月予定	未定	第1回 研究活動把握能力(学内の研究者インタビュー)	研究支援者は、大学の研究内容だけでなく研究者のポリシーやスコープに対して一定のレベルの理解が必要である。 この実習講座は、大学の研究活動の特色を見出した上で、研究者インタビュー者を選定し、年間8回(うち4回は他大学)の大学研究者へのインタビューを実施し、レポートにまとめ発表を行う。年間4回の発表会に参加し、他の研究支援従事者と結果を共有する。 年に1回、論文を一定時間内に読み内容を把握し概要を纏めるといった、論文テストを実施する。	①8人の研究者インタビューを実施しレポートを提出 ②論文テストで間違った記述をしていないこと ①、②で発行	研究活動実習講座(S01,S02,S03,S04)の受講かつ論文テストの受講で発行
24	S02	実習	研究活動	伊藤 正実	教授	群馬大学	8月予定	未定	第2回 研究活動把握能力(学外の研究者インタビュー)			
25	S03	実習	研究活動	伊藤 正実	教授	群馬大学	11月予定	未定	第3回 研究活動把握能力(学内の研究者インタビュー)			
26	S04	実習	研究活動	伊藤 正実	教授	群馬大学	H29.1月予定	未定	第4回 研究活動把握能力(学外の研究者インタビュー)			
27	P01	実習	プロジェクト調整能力	伊藤 正実	教授	群馬大学	5月予定	未定	第1回 プロジェクト調整能力	プロジェクトは、企画立案、プロジェクトに関する契約の構築、契約に基づいたプロジェクトの実行の3段階のプロセスがある。研究支援者は異セクター同士が連携するプロジェクト(学際領域研究を含む)を遂行する上で、常に研究者と企業との関係を構築し互いのコミュニケーションを密にする必要がある。 この実習講座は、事例報告やOJTの結果を受講生同士で共有化し、グループ討議と発表を行う。そして受講生間で互いに評価し、プレゼンテーションから指摘、気づきを与え、研究支援活動の調整能力向上を図る。 年間6回、OJT活動報告、グループ討議を実施する。	6回の受講とレポートの提出で発行	プロジェクト調整能力実習講座(P01,P02,P03,P04,P05,P06)の受講で発行
28	P02	実習	プロジェクト調整能力	伊藤 正実	教授	群馬大学	7月予定	未定	第2回 プロジェクト調整能力			
29	P03	実習	プロジェクト調整能力	伊藤 正実	教授	群馬大学	9月予定	未定	第3回 プロジェクト調整能力			
30	P04	実習	プロジェクト調整能力	伊藤 正実	教授	群馬大学	12月予定	未定	第4回 プロジェクト調整能力			
31	P05	実習	プロジェクト調整能力	伊藤 正実	教授	群馬大学	H29.2月予定	未定	第5回 プロジェクト調整能力			
32	P06	実習	プロジェクト調整能力	伊藤 正実	教授	群馬大学	H29.3月予定	未定	第6回 プロジェクト調整能力			